

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		まちの湯ふれあい入浴		款	4	項	1	目	2	事業	9	整理番号	141	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1165		昨年度整理番号	147			
上位施策No・施策名		15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分		既定事業								
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	49	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	<input type="checkbox"/> 計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		入浴事業は65歳以上の区民と付添者、健康事業は55歳以上の区民		内部管理		施設維持管理		根拠法令等 (1) 老人福祉法第4条1項及び第13条1項 (2) 杉並区ふれあい入浴実施要綱					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○高齢者同士の親睦を深めることにより、社会参加、交流を広げることができる憩いの場となるようにします。 ○身近にある公衆浴場で、まちの湯健康事業に高齢者が参加することで、健康増進が図られ、リフレッシュはもとより、介護予防につながるようになっていきます。		活動指標名(式)		(1) ふれあい入浴年間延べ利用者数 (2) まちの湯健康事業年間延べ参加者数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○毎週水曜日(一部火曜日)に各浴場の決められた時間帯(2時間)を100円で開放する。 ○月1～2回、手ぬぐい体操などの健康事業を行う。実施後、参加者は100円で入浴できる。長寿応援ポイント事業。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) ふれあい入浴1回当りの利用者数 算定式・指標の説明等 年間延べ利用者数÷実施回数 成果指標名(2) まちの湯健康事業1回当りの参加者数 算定式・指標の説明等 年間延べ参加者数÷実施回数							
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)		1	人	95,265	93,600	88,963	87,360	83,921	84,000	96.1			
	活動指標(2)		2	人	4,208	4,290	5,697	5,700	5,718	5,700	100.3			
	成果指標(1)		3	人	61	60	61	60	60	60	100.0			
	成果指標(2)		4	人	12	11	16	12	17	17	141.7			
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	58,313	58,935	54,105	58,948	52,160	55,698	24年度予算執行率(%)		88.5	
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 活動指標(1)平成24年度実績人数減少の理由:休業中の浴場が1所あったため。 平成25年度ふれあい入浴計画人数減少の理由:浴場数がさらに1所減少しているため。 執行残の理由:平成24年度計画より、実施浴場が減少したため。			
	(内) 委託費		7	千円	58,274	58,890	54,105	58,890	52,154	55,614				
	職員数	常勤職員数		8	人	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40				0.40
		再任用職員数		9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				0.00
		非常勤職員数		10	人									
	人件費	(内) 常勤職員分		11	千円	3,568	3,560	3,560	3,480	3,480				3,480
		(内) 再任用職員分		12	千円	0	0	0	0	0				0
		(内) 非常勤職員分		13	千円									
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	61,881	62,495	57,665	62,428	55,640	59,178				
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円	650	668	648	715	663	705				
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0				0
		国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0				0
都からの補助金等		18	千円	4,890	4,890	4,890	4,880	4,880	4,880					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	4,890	4,890	4,890	4,880	4,880	4,880					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	56,991	57,605	52,775	57,548	50,760	54,298					
受益者負担比率(16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 141

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ふれあい入浴	1389	回	43,753
		まちの湯健康事業	336	回	8,400
		その他(需用費)			
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	ふれあい入浴は、27か所(平成24年4月1日現在)で実施されており、実施回数は1,389回、利用者数は83,921人です。前年度と比べ、休業の浴場が1所あったことから、54回、5,042人減です。まちの湯健康事業は20か所(平成24年4月1日現在)で実施されていましたが、年度の途中で1所休業となり、実施回数は336回、参加人数は5,718人です。前年度に比べ、実施回数は10回の減ですが参加人数は672人増加しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○区内の公衆浴場数 昭和49年度 111か所 → 平成22年度 31か所 → 平成23年度 30か所 → 平成24年度 28か所 → 平成25年度 27か所(平成25年4月現在、1か所が休業中となっています。)
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○ふれあい入浴・・・「自宅にお風呂があっても、広いお風呂は気持ちいいので利用している。」「通院日と重なり指定時間に行くことができない。」「一人暮らしの高齢者同士、銭湯に来て健康の確認を合ったり、世間話をするのが楽しみとなっている。」「中にはマナーの悪い人がいる。」といった声が寄せられています。 ○まちの湯健康事業・・・「とても良いので回数を増やしてほしい。」「利用者が増え、体操に必要なスペースを脱衣所では確保しにくい。」といった声が寄せられています。
	今後の予測	○浴場は、年々地域で暮らす高齢者の方の高齢化が進むなか、気軽に足を運ぶことのできる憩いの場所であり、ますます需要が高まることが予想されます。また、まちの湯健康事業は、無理なく身体を動かすことができるプログラムが実施されており、参加者の方々から大変好評であり、需要が高まることが予想されます。しかし、浴場数は年々減少しているのが現状です。 ○事業実施浴場数が減少するため、実施浴場には参加者が増えて、適性な人数を超えてしまい、予約制を取り入れる浴場が増加しています。
評価と課題	○ふれあい入浴やまちの湯健康事業をきっかけに、高齢者の方が浴場に出かけることで、地域コミュニティの一つとなっています。 ○まちの湯健康事業では、健康増進、介護予防としての役割も果たし、地域の顔見知りが増え、参加者同士が時間を共有できる良い機会となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し		<input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し	
	浴場数が年々減少している一方、利用者数の増加が見込まれるため、1か所あたりの利用者数がますます増加していき、安全で快適な事業運営が困難になることが予想されます。安全かつ円滑に事業運営の継続ができるよう、浴場組合とも意見交換や協議をしながら、開催日や開催日数、事業内容の見直しを図ります。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 142

24年度の事業実施状況	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		風呂っと杉並 事業運営費助成	9	所
(1)主な取組み				
	その他()			0
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	事業を実施する浴場数は9所に減少し、高齢者の自主グループ登録も増えていませんが、浴場が企画し呼びかけて、地域の高齢者が集う活動(ヨガ、ピラティス教室)を開催した結果、実施回数255回、利用者数1,879人と、前年度実績の実施回数231回、利用者数1,619人を上回りました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○区内の公衆浴場数 昭和49年度 111所 → 平成22年度 31所 → 平成23年度 30所 → 平成24年度28所 ○風呂っと実施浴場 平成13年度 9所 → 平成23年度 12所 → 平成24年度 9所 ○平成24年度は、浴場が企画運営する活動が増加したため、実施回数が増加しています。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○「近所なので集まりやすく、気軽に利用できるのがいい。」といった評価を頂いています。
	今後の予測	○実施浴場が減少していく傾向にあります。 ○一部浴場では、実績が伸びていきます。
評価と課題	○高齢者の交流を推進するために、浴場を営業時間外に開放していますが、平成23年度に行った事業のPR活動にもかかわらず、高齢者のグループ登録は増えていません。個々の浴場の立地条件など、自主グループの登録が進まない原因を分析して、適性な事業規模等の事業の在り方について再検討することが課題です。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
今後の高齢化のますますの進展に対応して、高齢者の自主的な活動拠点を確保するための一つの方法として、浴場がより有効に活用できるよう、事業のあり方について、浴場組合と協議していきます。						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		いきいきクラブの支援		款	4	項	1	目	2	事業	11	整理番号	143		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	149				
上位施策No・施策名		15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分		既定事業									
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	33	年度	<input type="checkbox"/>	実行計画事業目標		施策	計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)			
	対象	杉並区いきいきクラブ 杉並区いきいきクラブ連合会		内部管理		根拠法令等		(1) 老人福祉法第4条、第13条2項 (2) 杉並区いきいきクラブ助成要綱							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		〇クラブ会員一人一人が社会貢献活動やいきがい活動を積極的にこなさない、高齢期をいきいき元気に生活できるようにします。 〇いきいきクラブ及びいきいきクラブ連合会の活動の活性化と、会員増加を支援します。		活動指標名(式)		(1) いきいきクラブ加入者数 (2)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		〇いきいきクラブが実施する社会奉仕活動・友愛活動・健康増進活動・生きがい活動等のクラブ活動に対して、各クラブの会員数を考慮し助成する。 〇いきいきクラブ連合会及び地区連合会が実施する福祉大会・スポーツ大会・健康づくり教室等の事業に対して、助成する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) いきいきクラブ加入率 算定式・指標の説明等 いきいきクラブ加入者数÷60歳以上の人口 成果指標名(2) 1ヶ月の社会奉仕活動回数(クラブあたり) 算定式・指標の説明等 社会奉仕活動回数÷全クラブ数÷12月								
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
指標	活動指標(1)	1	人	6459	6500	6255	6200	6186	5850	99.8					
	活動指標(2)	2													
	成果指標(1)	3	%	4.73	6.00	4.47	5.00	4.42	5.00	88.4					
	成果指標(2)	4	回	14.05	20.00	13.29	13.00	13.06	13.00	100.5					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	27,457	28,299	26,935	27,906	26,796	27,653	24年度予算執行率(%)	96.0				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0				特記事項 平成25年4月1日現在で72クラブとなり、全クラブ会員数は5,770人となった。					
	(内)委託費	7	千円	0	20	6	19	0	19						
	職員数	常勤職員数	8	人	0.65	1.00	1.00	1.00	1.10					1.00	
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00								
		非常勤職員数	10	人											
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	5,798	8,900	8,900	8,700	9,570					8,700	
		(内)再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0					0	
		(内)非常勤職員分	13	千円											
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	33,255	37,199	35,835	36,606	36,366	36,353						
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	5,149	5,723	5,729	5,904	5,879	6,214						
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0								
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0								
都からの補助金等		18	千円	3,052	3,200	2,985	2,988	2,979	3,014						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0									
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	3,052	3,200	2,985	2,988	2,979	3,014						
差引:一般財源(14-20)	21	千円	30,203	33,999	32,850	33,618	33,387	33,339							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 143

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		いきいきクラブ助成金	79	団体	26,138
		福祉大会・都市交流等事業	1	団体	650
		その他(旅費、需用費、役務費)			8

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	昭和33年→3クラブで開始。平成5年に会員数のピーク(12,071人)、平成10年にクラブ数のピーク(100クラブ)となりました。 平成21年→81クラブ、会員数6,778人(60歳以上人口134,259人、クラブ加入率5.0%)※国及び都の要綱改正に伴い、1クラブあたりの会員数を「50人以上」から「30人以上」に改正 平成24年→79クラブ、会員数6,186人(同140,283人、同4.4%) 高齢者人口は年々増加していますが、クラブ数及び会員数、60歳以上人口に占める加入率は年々減少しています。
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○会員から、「高齢者の生きがい活動の場として、いきいきクラブで楽しく活動しています。」「引きこもりの防止となるよう活動を工夫しています。」「また、「会員の高齢化と、若い世代の高齢者が入会しないなどの事情で、クラブ役員を担う後継者がいません。」という感想や意見があります。 ○一般の方から、「自分の趣味に合うサークル活動をさがしているが、クラブの情報をどこで、だれに聞けばいいかわかりません。」「自分の親に活動を紹介したいが、どこでどんな活動があるか知りたい。」などの具体的な情報を求める声があります。
	今後の予測	平成24年度当初は79クラブになりましたが、年度末には5クラブの廃止があり、最終的には72クラブに減少し、会員の平均年齢は79.6才となりました。若い世代の高齢者の加入は少なく、会員数は今後も減少すると思われます。しかし、一部のクラブでは活動内容や会員への呼びかけなどに工夫を行い、会員数を伸ばしています。杉いき連は活性化委員会を立ち上げ、クラブや会員の減少を防止する対策を検討する予定です。
評価と課題	ゆうゆう館利用の状況や長寿応援ポイント事業の利用状況から、いきいきクラブ活動は高齢者の社会参加に一定の成果をあげています。しかし老人クラブ加入者の減少は全国的な傾向で、多様なライフスタイルや価値観が生まれている現代では、高齢者にとって老人クラブ以外の多種多様な選択肢が広がっています。そのため、単なる娯楽のためだけではなく、ボランティアや友愛活動なども含めた地域に発信できるクラブの魅力をつくりだし、若手高齢者の関心、興味のある活動を展開することが課題です。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他			
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
<p>加入者の減少はあるものの、依然として高齢者へ活動の場を提供し、情報発信する役割を担っています。現状を踏まえて、活動内容が活発化するよう区は支援します。また、会長・会計の事務量軽減のため、助成金の申請や実績報告の手続を簡素化します。</p> <p>今後は、働く高齢者も増えるとともに、高齢期になってからの長い期間をいきがいをもってすごしていただけるよう、高齢者の活動の支援のあり方全体を再構築する必要があります。その中のひとつとして、いきいきクラブへの支援のあり方について検討していきます。</p>						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 144

24年度の事業実施状況	内 容	規模	単位		事業費(千円)
			単	位	
(1)主な取組み	シルバー人材センター運営助成				168,709
	その他(シルバー人材センター運用資金貸付金)				5,000
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	シルバー人材センターはゆうゆう館の協働事業運営等の公共的な事業415件、民間事業所の事業5,197件、一般家庭の事業12,551件を受託し、916,444千円の事業収入を得ました。シルバー人材センターの事業周知支援として、広報すぎなみに事業案内記事を計54回掲載しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○総人口(区)に占める60歳以上の区民の割合:昭和54年 8.57% ⇒平成24年4月 26.16% ○シルバー人材センター会員数:昭和54年度 1,280人⇒平成24年度末 3,084人 ○25年1月より「シルバー孫の手」事業を開始しました。これは、健康で元気なシルバー会員が地域の高齢者を支えるボランティア活動です。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○施設利用者を対象に昨年に続き、公共施設アンケート調査を行い、概ね良い評価を得ました。頂いた意見は、今後の就業に活かすよう努めていきます。 ○作品販売の管理体制に対する会員(区民)からの提案があり、作品販売管理システムを改善しました。これにより作品一品ごとに管理することが可能になりました。
	今後の予測	会員数については、今後も高齢人口の増加や団塊の世代の加入により伸び続けますが、経済・雇用情勢の成長は依然不確実であり、受注の契約金額が好転するまでには時間がかかると思われます。また、会員数に応じた就業機会の確保、就労内容に応じた会員の能力育成が課題となっています。「シルバー孫の手」事業を通して、互いに支えあう地域づくりにシルバー人材センターの果たす役割は、ますます大きなものとなり、その活動への期待も高まっています。
評価と課題	会員の増加にもかかわらず契約件数、就業実人員の微増や、会員の就業率が68.3%を維持していることは評価できますが、契約金額は減少傾向が続いています。今後は高齢化する会員の就労適性の評価と、就労ニーズに応えるための会員の職種転換を促す取組が課題です。また、シルバー人材センターの公益性に対する評価の向上を図るため、「シルバー孫の手」事業の普及により互いに支えあう地域づくりに貢献していくことも課題です。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し		<input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し	
	○就業活動と地域貢献活動を通して、高齢になっても社会参加しやすい場づくり・つながりづくりに貢献するよう、区は支援を継続します。また、地域貢献活動として始まった「シルバー孫の手」事業について、利用拡充のため今後も町会、民生委員、地域包括支援センター等に周知に努めます。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 145

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		杉の樹大学	1	所	3,596
		高齢者の就業・社会参加支援	1	所	2,744
		その他(報償費、需用費、役務費)			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>○区の高齢化率の推移(65歳以上の総人口に占める割合) 昭和50年7.42%、平成元年11.44%、平成20年18.68%、平成23年19.72%、平成24年19.75%</p> <p>○平成24年度は、高齢者活動支援センターの改修工事がおわり、5月から施設利用が再開され、団体及び活動回数が増加しました。</p> <p>○杉の樹大学は、平成25年度受託事業者を公募型プロポーザルで選定し、NPO法人杉の樹カレッジが選定されました。</p>
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>○「杉の樹大学は、新しい仲間と出会えた、充実した一年を過ごすことができた、学びから知り得た知識を地域のボランティア活動に活かしていきたい」など、受講生の評価は好評です。</p> <p>○高齢者の就業・社会参加支援では、65歳を迎えた団塊の世代に対して「65歳」今あらたなスタート」講座を開催しました。区内で活躍しているNPO法人をパネリストに迎え活動参加の呼びかけを行い、ワールドカフェ方式での対話を通し参加者同士が交流して、参加者から「新たなスタートのきっかけになった」等好評を得ました。</p>
	今後の予測	<p>○地域で暮らす高齢者がいきがいを持って生活していくために、高齢者一人ひとりの外出のきっかけづくりや高齢者が立ち上げた団体等が活動しやすいよう、支援していくことが求められています。</p> <p>○高齢者のセカンドステージについて、就労以外に地域社会で新たな役割を担うことが期待されていることと、その具体的な活動の提案をする必要性が高まります。</p>
評価と課題	<p>○杉の樹大学事業等は、高齢者の健康、いきがい向上を目的とする活動を担う人材の育成の上で重要な事業です。</p> <p>○杉の樹大学事業は、今後、時代や高齢者のニーズに合わせたカリキュラムの工夫が課題であり、運営団体に対し、アンケート内容を改善しその結果を企画運営に反映できるよう、働きかけます。</p> <p>○高齢者の就業・社会参加支援では、パートタイマー、アルバイトを含み20人が就職しましたが、引き続き、求人開拓の強化が課題です。</p>	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ その他
		II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し	
	<p>○ゆうゆう館の自主グループ、協働事業、まちの湯健康事業の、てぬぐい体操、健康エアロビクスの講師(社会貢献スタッフ)の需要があり、活動実績が伸びています。需要は増加していますが、講師の高齢化や後進の育成が課題となっています。高齢者の健康づくり、いきがいづくりに貢献してもらうとともに、諸課題を含め、社会貢献スタッフの地域活動が安定して継続できるよう、検討していきます。</p> <p>○高齢者を対象とした社会教育の一環である杉の樹大学の在り方について、検討していく機会を設けていきます。</p> <p>○高齢者の就業・社会参加支援では求人開拓の強化が課題のため、委託先のNPO法人では従事する担当者を増やし推進体制を整えていきます。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名	高齢者活動支援センター事業運営						款	4	項	1	目	2	事業	32	整理番号	162
担当部課名	保健福祉部高齢者施策課						係名	施設担当係			連絡先電話番号	1153		昨年度整理番号	169	
上位施策No・施策名	15 高齢者のいきがい活動の支援						予算事業区分			既定事業						
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	58	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標	施策	計画事業				<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)				
	対象	○60歳以上の区民で構成される10名以上の団体(ゲートボール場) ○高齢者活動支援センター運営協議会委員				内部管理			根拠法令等	(1) 杉並区高齢者ゲートボール場管理運営要綱 (2) 杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会設置要綱						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○高齢者活動支援センターを運営し、高齢者の生涯現役社会の地域拠点として、健康増進、教養の向上などを図ります。 ○スポーツ活動(ゲートボール)を通して高齢者の社会参加の機会を拡充し、元気高齢者の増加を図ります。				活動指標名(式)		(1) 高齢者活動支援センター登録団体数 (2) ゲートボール登録団体数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○高齢者の活動拠点として、高齢者活動支援センターを指定管理者による運営を行う。 ○高齢者の健康増進及び高齢者団体の活動支援のため、高齢者ゲートボール場を運営する。 ○高齢者活動支援センターの管理運営について、区民の意見を反映させるため、杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会を設置し、会議を開催する。				成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
	成果指標名(1)	高齢者活動支援センター利用率			算定式・指標の説明等	講座室等利用回数÷利用可能枠数										
	成果指標名(2)	ゲートボール場利用率			算定式・指標の説明等	利用回数÷利用可能枠数										
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1	団体					50	60							
	活動指標(2)	2	団体	20	21	21	21	21	18	100.0						
	成果指標(1)	3	%					42.6	50.0							
	成果指標(2)	4	%	45.0	60.0	60.0	60.0	45.5	60.0	75.8						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	363	463	330	459	283	452	24年度予算執行率(%)		61.7				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	266	267	192	268	190	269							
	職員数	常勤職員数	8	人	0.18	0.25	0.40	0.40	0.41	0.44	※活動指標(1)、成果指標(1)は、24年度に建物ができ利用が始まったため、24年度計画値以前は記載できません。					
		再任用職員数	9	人	0.30	0.34	0.20	0.20	0.20	0.20						
		非常勤職員数	10	人				0.20	0.00	0.00						
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	1,606	2,225	3,560	3,480	3,567	3,828						
		(内)再任用職員分	12	千円	885	1,047	616	786	786	786						
		(内)非常勤職員分	13	千円				550	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	2,854	3,735	4,506	5,275	4,636	5,066							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円					92,720	84,433							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0							
差引:一般財源(14-20)		21	千円	2,854	3,735	4,506	5,275	4,636	5,066							
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 162

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		高齢者ゲートボール場清掃等委託	1	年	190
		杉並区立高齢者活動支援センター運営協議会委員謝礼	1	回	60
		その他(光熱水費 ほか)			33
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>○高齢者ゲートボール場の維持管理、団体利用抽選などを実施しました。</p> <p>○平成24年5月にリニューアルオープンした杉並区立高齢者活動支援センターの運営協議会を1回開催しました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	全国的にゲートボール人口は減少傾向にあり、高齢者ゲートボール場登録団体数は平成12年度の29団体をピークに減少し、平成18年度には17団体となりました。平成24年度は21団体が登録しています。高齢者活動支援センターは昭和58年の開設ですが、隣接する杉並清掃工場の建替工事に伴い、大規模改修工事を実施し、改修後は、運営をより効果的、効率的に行い、利用者にとってより一層利用しやすい施設とするため、指定管理者制度を導入しました。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者活動支援センター運営協議会委員からは、高齢者向けの事業の実施について、要望が寄せられました。 浴室の有料化に対する意見が寄せられました。 高齢者ゲートボール場利用団体からグラウンドの整備について、要望が寄せられました。
	今後の予測	高齢者人口が増加することに合わせて、スポーツなどを通じた社会参加の機会の拡充を希望する高齢者が増加するとともに、高齢化が進むため高齢者ゲートボール場のグラウンド整備などを区が積極的に行うようになる必要が出てくることが予想されます。 幅広い年齢層が利用・交流できる、にぎわいと活気ある施設、地域の拠点としての高齢者活動支援センターの役割が求められることが予想されます。
評価と課題	高齢者活動支援センターのリニューアルオープンに合わせて、指定管理者による運営への移行と受付業務を総合受付に変更しました。高齢者のみならず幅広い世代が利用しやすいよう運営を行っています。講座室などの部屋の利用率の向上にむけた課題があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input checked="" type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	<p>高齢者活動支援センターについては、指定管理者による運営に移行しました。ハード面の整備は平成24年度に終わり、今後はソフト面での改善を行うよう指定管理者と協議を行っていきます。</p> <p>高齢者ゲートボール場については、利用団体での自主的な管理の必要性がある事を認識しつつ、区も手を携えて進めていく必要があります。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		ゆうゆう館の運営		款	4	項	1	目	2	事業	33	整理番号	163	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	施設担当係		連絡先電話番号		1153		昨年度整理番号	170		
上位施策No・施策名		15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分		既定事業								
事業開始		昭和	38年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		4	施策	15	計画事業	1	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
事務事業の概要	対象	○60歳以上の区民及びゆうゆう館協働事業参加者 ○NPO法人等の協働事業実施団体		内部管理	根拠法令等		(1)	杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例						
				施設維持管理			(2)	老人福祉法						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○NPO法人等の公共的な団体との協働により、効率的かつ魅力あるゆうゆう館の管理運営を図ります。		活動指標名(式)		(1) 協働事業実施回数 (2) 協働事業年間参加者数								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○ゆうゆう館の受付業務及び館清掃等をNPO法人等の公共的な団体に委託する。 ○効率的かつ魅力あるゆうゆう館として運営していくため、評価委員会を開催し、ゆうゆう館協働事業実施団体に対する評価を行う。 ○新たにゆうゆう館の協働事業実施団体を選定するため、選定委員会を開催する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
	成果指標名(1)	協働化率(24年度まで)		算定式・指標の説明等	協働事業実施館数÷ゆうゆう館数									
	成果指標名(2)	協働事業参加者の満足度		算定式・指標の説明等	(大いに満足+満足)÷参加者数 利用者アンケート結果より									
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	1	館	6,616		7,701		9,570	9,600					
	活動指標(2)	2	人	71,109	86,400	90,615	91,000	98,866	100,000	108.6				
	成果指標(1)	3	%	88	100	100	100	100		100.0				
	成果指標(2)	4	%	85.1		88.6		88.3	90.0					
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	219,064	248,557	247,990	242,336	242,179	242,202	24年度予算執行率(%) 99.9				
	(内)投資的経費等	6	千円	4,794	4,932	4,381	100	499	0	特記事項 ※活動指標(1)、成果指標(2)について 今年度より指標を変更したため、23・24年度の計画値は記載できません。 成果指標(1)の25年度の計画値は、指標を24年度までとするため記載を省略しています。				
	(内)委託費	7	千円	211,101	241,095	241,084	241,121	241,089	241,591					
	職員数	常勤職員数	8	人	1.39	1.42	1.35	1.80	1.86					2.10
		再任用職員数	9	人	0.30	0.25	0.24	0.30	0.30					0.50
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00					0.00
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	12,399	12,638	12,015	15,660	16,182					18,270
		(内)再任用職員分	12	千円	885	770	739	1,179	1,179					1,965
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0					0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	232,348	261,965	260,744	259,175	259,540	262,437					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	34,394		33,290		27,068	27,337					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0					0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0					0
		都からの補助金等	18	千円	4,170	3,630	3,362	340	493					239
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	4,170	3,630	3,362	340	493	239					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	228,178	258,335	257,382	258,835	259,047	262,198					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 163

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ゆうゆう館受付等業務委託(うち協働事業館32館)	32	館	240,999
		協働事業館支援事業(備品・消耗品購入)	32	館	985
		ゆうゆう館評価・選定委員会開催	3	回	194
		その他()			1
(2)事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	32館で年間8,968回の協働事業が行われ、延9万人を超える参加者がありました。ゆうゆう館を利用した人数も延455,869人を超え、年々利用者数が伸びています。運営団体の実施状況については、平成19年度及び平成22年度にゆうゆう館協働事業を開始した10団体を対象に外部評価を3回実施しました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	受付等業務委託は、平成18年度の時点では16館(うち協働事業館9館)で行っていました。平成23年度から区内32箇所あるゆうゆう館の全てが受付等業務委託館及び協働事業実施館となりました。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	館の管理運営については概ね順調に行われています。また、受託団体の接客姿勢についても満足しているとの意見もいただいています。また、利用者のニーズにあった協働事業を幅広く実施することに伴い、利用者数は順調に増加しています。ただし、従来からゆうゆう館を利用していた高齢者団体等からは、希望する日時での自主活動ができなくなったなどの苦情も寄せられています。
	今後の予測	平成23年度から受付等業務委託館及び協働事業実施館は全32館になりました。ゆうゆう館が継続的に安定して運営できるよう、団体の評価を通して、必要な支援や指導を行うことが区に求められます。地域の高齢者のニーズを把握し事業を企画することや各ゆうゆう館の特性を活かした事業の企画などを進めていくことが求められます。
評価と課題	平成23年度からは全ゆうゆう館で受付業務の委託と協働事業を行っており、全館で同一水準のサービス提供ができるよう、運営団体との意見交換を行い、成果と課題について認識を共有しました。地域に根差した施設として高齢者の満足度がさらに上がるよう事業の企画や運営方法についての工夫が求められます。 また、区立施設の再編整備計画の策定に合わせて、今後のゆうゆう館のあり方を検討していく必要があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他			
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	<p>ゆうゆう館の運営について、運営団体に対して区からの情報発信を正確に行うとともに、運営団体との意見交換を行い、共通認識を深め、事業の実施ルールの明確化を図っていきます。</p> <p>今後、高齢化が進む中で、ゆうゆう館の存在意義は高くなり、更なる運営の充実が求められます。このような背景の中で策定する区立施設の再編整備計画の中で、高齢者の活動の場をどのように確保していくか検討し、実施していく必要があります。</p>					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		三療サービス		款	4	項	1	目	2	事業	34	整理番号	164	
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	171			
上位施策No・施策名		15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分				既定事業						
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	48	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業		<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)		
	対象		60歳以上の区民 杉並区高齢者三療サービス連絡協議会		内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区高齢者活動支援センター及び敬老会館設置条例 (2) 杉並区三療サービス事業実施要綱					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○マッサージを受け、高齢者の身体機能の維持・介護予防の促進を図り、いきいきと暮らせるようにします。 ○診療所を持たない視覚障害者に就労の場を確保します。		活動指標名(式)		(1) 三療サービス利用者数(24年度までゆうゆう館と高齢者活動支援センター利用人数合計) (2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○ゆうゆう館で行うマッサージ・はり施術を「杉並区高齢者三療サービス連絡協議会」に委託して実施する。高齢者活動支援センターでは、指定管理者が同協議会に再委託して実施する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)利用率 算定式・指標の説明等 利用者数÷60歳以上の区民 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	22年度	23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)					
指標	活動指標(1)	1	人	実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
	活動指標(2)	2	人	7,751	8,100	7,416	7,800	5,110	5,000	65.5				
	成果指標(1)	3	%	5.6	6.0	5.3	6.0	5.7	6.0	95.0				
	成果指標(2)	4												
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	13,480	13,838	13,564	12,819	12,455	12,727	24年度予算執行率(%) 97.2				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 高齢者活動支援センターでの三療サービスは、平成24年5月から指定管理者制度に移行したため、委託費(80,740円)と利用者数(179人)の実績は4月分のみ。 また、25年度の計画値はゆうゆう館だけの値となっている。 【参考】 高齢者活動支援センター利用者数 平成24年4月 179人 平成24年5月～平成25年3月 2,948人				
	(内)委託費	7	千円	13,149	13,492	13,219	12,473	12,137	12,381					
	職員数	常勤職員数	8	人	0.30	0.30	0.40	0.30	0.40					0.30
		再任用職員数	9	人	0.40	0.70	0.70	0.00	0.00					0.00
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00					0.00
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	2,676	2,670	3,560	2,610	3,480					2,610
		(内)再任用職員分	12	千円	1,180	2,156	2,156	0	0					0
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0					0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	17,336	18,664	19,280	15,429	15,935	15,337					
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	2,237	2,304	2,600	1,978	3,118	3,067					
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0					0
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0					0
都からの補助金等		18	千円	6,140	6,364	6,231	6,363	6,363	6,364					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	6,140	6,364	6,231	6,363	6,363	6,364					
差引:一般財源(14-20)		21	千円	11,196	12,300	13,049	9,066	9,572	8,973					
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 164

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		三療サービス(ゆうゆう館) 事業委託	4,931	人	10,488
		三療サービス(高齢者活動支援センター) 事業委託(4月まで)	179	人	81
		その他(需用費、役務費)			1,886
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>ゆうゆう館では各館月1回又は2回実施し、1回平均10.3の方が施術を受けました。介護予防事業の一環として、ゆうゆう館を訪問して、健康や介護予防に関するアンケート調査を実施しました。</p> <p>高齢者活動支援センターでは22日実施し、1日平均7.8の方が施術を受けました。(4月分のみ)</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	ゆうゆう館 平成21年度5,193人 22年度5,201人 23年度5,067人 24年度4,931人 高齢者活動支援センター(24年5月以降は指定管理者制度に移行しました。) 平成21年度2,669人 22年度2,550人 23年度2,349人 24年度3,127人(うち4月分 179人)
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○現在、ゆうゆう館では原則として施術は1月あたり1回しか受けられないので、利用できる回数を増やしてほしいとの要望があります。
	今後の予測	○ゆうゆう館の三療サービス利用者数は近年、減少傾向にあります。館による差も大きく、これは施術者、地域性によるとみられます。 ○高齢者活動支援センターの利用者数は、センターの改修工事の影響もあり減少しましたが、平成24年5月から第3月曜日を除く月曜日と夜間の施術を開始したことにより、増加しています。今後夜間も利用できるなどの周知を一層行い、新規利用者の拡大を図ります。
評価と課題	利用者には大変好評な施術ですが、ゆうゆう館によっては、予約の埋まらない館があるため、館別の広報活動をする必要があります。また、利用者に対し、介護予防事業の普及啓発を効果的にすすめることが必要です。 高齢者活動支援センターについては、指定管理者制度に移行後、施術時間と対象者を拡大したため、広報掲載をしていった結果、利用者は拡大しています。 施術者に対する利用者の不満がより少なくなるよう、今後も、協議会が実施する技術・接客向上のための研修会を支援していきます。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ その他			
	II 事業の方向性	● 手段・方法の見直し	○ 実施主体の見直し	○ 対象の見直し		
	○ゆうゆう館では、館ごとの傾向を見ながらPRを検討していきます。また利用者に対して介護予防事業の普及啓発活動を実施し、高齢者の健康増進を目指します。 ○高齢者活動支援センターにおいては、平成 24年5月から指定管理者制度を導入しました。サービス内容なども変更されましたが、今後の利用者増を図るため、指定管理者と三療サービス連絡協議会による運営についての連絡会や、区広報による周知などの支援をします。					

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		敬老事業		款	4	項	1	目	2	事業	35	整理番号	165			
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課		係名	いきがい活動支援係		連絡先電話番号	1164		昨年度整理番号	172					
上位施策No・施策名		15 高齢者のいきがい活動の支援		予算事業区分		既定事業										
事務事業の概要	事業開始		昭和	▼	27	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		4	施策	15	計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象		○75歳以上の高齢者 ○75歳、81歳、100歳以上の高齢者		内部管理		根拠法令等		(1)		老人福祉法第4条、5条、第13条第1項					
					施設維持管理				(2)							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○対象者が、後期高齢期を健やかに過ごし、これからの活動への意欲が高められるようにします。		活動指標名(式)		(1)		敬老会参加者数							
						(2)		祝い品贈呈者数(75歳、81歳、100歳以上)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○高齢者の長寿を祝うため、式典及び演芸会を開催する。 ○対象者に敬老祝い品を贈呈(戸別配送)する。在宅で生活している100歳以上の男女1名ずつには区長が訪問し、直接贈呈を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標		成果指標名(1)		敬老会来場率						
				算定式・指標の説明等		来場者÷対象者数		成果指標名(2)		祝い品交換率						
				算定式・指標の説明等		交換者÷対象者数										
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1	人	5,018	5,000	5,003	5,000	4,343	5,000	86.9						
	活動指標(2)	2	人	8,373	9,090	8,620	8,800	8,418	8,500	95.7						
	成果指標(1)	3	%	9.3	10.0	9.0	10.0	7.3	8.6	73.0						
	成果指標(2)	4	%	99.0	100.0	99.3	100.0	98.7	100.0	98.7						
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	33,370	35,599	33,953	38,789	33,816	37,762	24年度予算執行率(%)		87.2				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 執行残の理由:敬老祝い品の購入予算額と確定額の差額による残						
	(内)委託費	7	千円	11,067	10,721	10,652	11,295	11,227	9,695							
	職員数	常勤職員数	8	人	1.75	1.90	2.00	1.90	1.90					1.90		
		再任用職員数	9	人	0.40	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00						
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00	0.00						
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	15,610	16,910	17,800	16,530	16,530	16,530						
		(内)再任用職員分	12	千円	1,180	616	616	0	0	0						
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0	0						
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	50,160	53,125	52,369	55,319	50,346	54,292							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	9,996	10,625	10,468	11,064	11,592	10,858							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0						
都からの補助金等		18	千円	6,925	7,132	6,931	7,228	7,229	7,252							
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	6,925	7,132	6,931	7,228	7,229	7,252							
差引:一般財源(14-20)	21	千円	43,235	45,993	45,438	48,091	43,117	47,040								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 165

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		敬老会開催	6	回	14,145
		敬老祝い品贈呈	8,418	人	19,671
		その他()			0

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業(敬老会)を開始した当時は娯楽の少ない時代でしたが、現在は日常的に趣味や娯楽を楽しめる時代です。75歳以上の高齢者人口(区総人口に対する比率)は、昭和27年2,993人(0.8%)から平成25年の56,632人(10.4%)へ推移しています。
	事業に対する意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	敬老会の開催内容については、第二部のプログラムを、今回は、午前中に落語、午後に歌謡ショーにしました。以前より、落語の希望は多かったため、観賞後の感想は、歌謡ショーについても落語についてもかなり良いものでした。平成23年度に続き、24年度も申込者が会場の定員を超えたため抽選を行い、落選者が出たことに対して、苦情が多数寄せられました。 敬老祝い品のカタログギフトは個人の嗜好に合わせて商品を選択できるので、対象者になるのを楽しみにしているという声が多くありますが、これ以上、物を増やしたくないので祝い品は必要ないという意見や区内共通商品券、現金を希望する声もあります。
	今後の予測	高齢化に伴い、毎年、対象者は増加していきます。現在の敬老事業の内容では対応しきれなくなる可能性があり、内容の見直しが必要となってきます。
評価と課題	敬老会では、平成15年から歌謡ショーを行っていましたが、平成24年は午前の部は落語を行いました。クラシックコンサートや学術講演を希望するなど、興味関心は多様化しています。また対象者の増加により、内容や座席数などの対応が困難になる可能性があり、参加者の安全を考慮した事業の見直しが必要です。 敬老祝い品の対象年齢や内容は区民に定着しており、交換率から推測しても、概ね好評と言えます。100歳以上の祝い品に関しては毎年対象者になる方については同じ内容が続くので見直しの検討が必要です。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
敬老事業は区民の関心が高く、毎年楽しみにされている方が多くいますが、対象者の増加により様々な要望があり、従前どおりの事業形態の継続が難しくなっています。他自治体も同じ理由で事業の見直しを行っており、杉並区も対象者人数の増加傾向や区民の意向を把握し、今後の事業に反映していく必要があります。						

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		長寿応援ポイント事業			款	4	項	1	目	2	事業	36	整理番号	166		
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課			係名	長寿応援ポイント担当			連絡先電話番号	1166		昨年度整理番号	173			
上位施策No・施策名		15 高齢者のいきがい活動の支援			予算事業区分				既定事業							
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	21	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実行計画事業目標		4	施策	15	計画事業	2	<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)	
	対象	地域貢献活動、健康増進活動等は60歳以上の区民 いきがい活動は、75歳以上の区民			内部管理		根拠法令等		(1) 杉並区長寿応援ポイント事業実施要綱 (2) 杉並区長寿応援ポイント事業運営委員会設置要綱							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								活動指標名(式)							
	○高齢者の社会参加を促進し、活動がより活発になることで、高齢者自身の健康増進やいきがいの向上を図るとともに、要介護状態になる年齢を遅らせます。さらに、その活動によってお互いや地域のための「支えあい」の活動が進展するようにします。								(1) 活動登録グループ件数(累計) (2) ポイント交換者数							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)								成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
○区が認定した「地域貢献活動」等へ高齢者が参加したときポイントを配布する。貯めたポイントは、区内共通商品券との交換及び地域活動団体の助成を行うため設置した長寿応援ファンドへの寄付にあてることとする。 ○円滑な事業運営を図るため、長寿応援ポイント事業運営委員会を設置する。 ○業務は民間事業者への委託により行う。								成果指標名(1) (代)週2回以上外出している高齢者の割合 算定式・指標の説明等 区民意向調査による 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度	計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画								
指標	活動指標(1)	1	件	1,096	1,500	1,135	1,620	1,210	1,750	74.7						
	活動指標(2)	2	人	2,712	4,000	5,484	5,000	5,370	5,500	107.4						
	成果指標(1)	3	%	89.1	90.0	83.8	90.0	85.2	90.0	94.7						
	成果指標(2)	4														
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	53,105	79,774	71,996	79,229	73,001	79,228	24年度予算執行率(%)		92.1				
	(内)投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項						
	(内)委託費	7	千円	34,429	29,458	29,443	30,103	30,094	31,848							
	職員数	常勤職員数	8	人	2.25	2.00	2.00	2.00	2.20						2.00	
		再任用職員数	9	人	0.30	0.10	0.00	0.00	0.00						0.00	
		非常勤職員数	10	人				0.00	0.00						0.00	
	人件費	(内)常勤職員分	11	千円	20,070	17,800	17,800	17,400	19,140						17,400	
		(内)再任用職員分	12	千円	885	308	0	0	0						0	
		(内)非常勤職員分	13	千円				0	0						0	
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	74,060	97,882	89,796	96,629	92,141	96,628							
	単位あたりコスト((14-6)÷1)	15	円	67,573	65,255	79,115	59,648	76,150	55,216							
	財源	受益者負担分	16	千円	0	0	0	0	0						0	
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0						0	
		都からの補助金等	18	千円	16,786	17,251	17,251	17,254	17,254						19,171	
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	16,786	17,251	17,251	17,254	17,254	19,171							
差引:一般財源(14-20)	21	千円	57,274	80,631	72,545	79,375	74,887	77,457								
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 166

24年度の事業実施状況		内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		(1) 主な取組み	長寿応援ポイント運営委員会	18	回	540
			普及啓発(チラシ、ポイントシール印刷等)			1,991
			事務運営			70,470
			その他()			0
(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	<p>長寿応援ファンドを活用し、地域に貢献する10活動(平成23年度は6活動)に助成を行いました。事業効果を測る一環として、町会・自治会、地域ささえ愛グループ参加者を対象に長寿応援ポイント事業アンケートを実施しました。</p> <p>平成24年度末の登録活動件数は1,210活動、ファンドへの寄付金額は6,356,750円です。</p>					

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>事業開始年度である平成21年10月の区内65歳以上人口は103,024人でしたが、平成25年4月現在では110,014人まで増加しています。</p> <p>そのうち介護保険認定者は22,453人となりました。平成23年3月の杉並区高齢者実態調査報告書によれば、65歳以上でボランティア活動を行っている高齢者は6.3%、趣味のサークルやクラブ活動を行っている高齢者は22.6%です。一方、65歳以上になると個人で行う趣味の活動が最も多く38.1%となっています。また、週2回以上外出している高齢者は84.1%で、生活に生きがいを感じている高齢者は81.0%です。</p>			
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	<p>ポイントが配られることで「参加意欲が向上する」「新しい方も参加するようになった」「友人が増えた」など、大変好評です。ポイント交換で得た商品券は日々の買い物や健康・娯楽など様々な目的で活用されています。また、寄付をしていただいた方からは「社会の役に立てることがうれしい」との声があります。一方、対象年齢を下げしてほしいとの要望があります。</p> <p>長寿応援ファンド助成を受けた活動団体からは、助成を受けたことにより「団体の知名度が上がり活動の場が大きく広がった」「安定した活動で多くの協力者を得ることができた」等の実施結果が報告されました。</p>			
	今後の予測	<p>今後も、高齢者人口の増加が見込まれます。さらに多くの高齢者に健康でいていただくため、事業を周知し参加してもらえよう、広報紙等での周知に留まらず、町会等の活動現場を訪問するなど丁寧な周知活動を行う必要があります。</p>			
	評価と課題	<p>長寿応援ポイント配布による活動支援は、高齢者の社会参加を通じた生きがいづくり・健康づくりのほか、地域での高齢者の見守りにも寄与しています。今後は、さらに高齢者の参加を増やすため地域包括ケアシステムの一つという点から周知を行うとともに、見直しを行うことが必要です。</p> <p>また、長寿応援ファンドについても、より有効な活用方法を検討します。</p>			

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 手段・方法の見直し <input type="radio"/> 実施主体の見直し <input type="radio"/> 対象の見直し
<p>地域包括ケアシステムを構成する1つの事業としての視点から事業の今後の方向性を検討します。</p>			

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 225

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				運営管理(指定管理者)	
		施設保守管理委託			910
		物品リース			355
		備品購入			336
		その他(光熱水費、消耗品購入、通信運搬費ほか)			439
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	平成24年5月のリニューアルオープン時から指定管理者による運営に変更しました。新しくなった施設へ必要な備品類の設置や機器の設置、必要な物品等を購入し、高齢者が利用しやすいように維持管理を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
	評価と課題	平成23年3月から施設の大規模改修を行い、平成24年5月から高齢者活動支援センターと高井戸地区民センター、温水プール等、建物の一体的運営・管理ができるように、指定管理者による運営に改めました。 これまで高齢者活動支援センターが果たしてきた役割を踏まえたうえで、幅広い年齢層が利用・交流できる、にぎわいと活気ある施設とすることが課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 226

24年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		光熱水費	32	館	29,910
		施設保守管理委託	32	館	16,903
		消耗品購入、修繕、家屋等修繕	32	館	9,144
		物品・機器リース	32	館	3,445
		その他(通信運搬費、備品購入費、負担金ほか)	5,130		
	(2) 事業実績 (協働、行革の取組みがあれば記入)	ゆうゆう館の利用者が安全かつ快適に施設の利用ができるよう、施設の修繕、施設保守管理委託などの維持管理を行うとともに、備品・消耗品などを購入しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
	評価と課題	ゆうゆう館の施設・設備の維持管理を行うことで、利用者の安全かつ快適な施設の利用について貢献できました。平成25年度に策定される区立施設の再編整備計画を考慮しつつ、優先して行うべき、小修繕を精査し、安全で利用しやすい環境を維持することが課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	

平成25年度 杉並区事務事業評価表(1)

事務事業名		高齢者活動支援センターの改修②				款	4	項	1	目	7	事業	6	整理番号	232				
担当部課名		保健福祉部高齢者施策課			係名	施設担当			連絡先電話番号	1153		昨年度整理番号	247						
上位施策No・施策名		15 高齢者のいきがい活動の支援				予算事業区分			投資事業										
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	21	年度	<input type="checkbox"/> 実行計画事業目標		施策	計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業(経営計画書掲載事業)								
	対象	○60歳以上の区民及び高齢者団体		内部管理		施設維持管理		根拠法令等	(1) 杉並区立高齢者活動支援センター及びゆうゆう館条例 (2) 老人福祉法第4条										
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								活動指標名(式)										
	○平成23年度から始まる杉並清掃工場の建替工事に備え仮設熱源を設置するとともに、老朽化した設備の更新、耐震補強工事、諸室の配置や機能の見直しなどを行うことにより、利用者が快適で利用しやすいサービスを受けることができる施設に改修します。								(1) (2)										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)								成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標											
○平成21年度に耐震診断及び基本設計を行う。 ○平成22年度に実施設計及び改修中の代替施設の確保を行う。 ○平成23～24年度上半期に改修工事を行う。 ○設計から完成まで、地域住民及び利用者との意見交換に努める。								成果指標名(1)		改修工事進捗率						算定式・指標の説明等		設計、工事、周辺整備を含む	
								成果指標名(2)								算定式・指標の説明等			
区分		単位	22年度		23年度		24年度		25年度		計画(目標値)に対する24年度の達成率(%)								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画											
指標	活動指標(1)		1																
	活動指標(2)		2																
	成果指標(1)		3	%	60	90	93	100	100				100.0						
	成果指標(2)		4																
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円				3,928	3,928	0	24年度予算執行率(%) 100.0								
	(内)投資的経費等		6	千円				0	0	0	特記事項								
	(内)委託費		7	千円				0	0	0									
	職員数	常勤職員数		8	人				0.00	0.10	0.00								
		再任用職員数		9	人				0.00	0.00	0.00								
		非常勤職員数		10	人				0.00	0.00	0.00								
	人件費	(内)常勤職員分		11	千円	0	0	0	0	870	0								
		(内)再任用職員分		12	千円				0	0	0								
		(内)非常勤職員分		13	千円				0	0	0								
	総事業費(5+11+12+13)		14	千円	0	0	0	3,928	4,798	0									
	単位あたりコスト((14-6)÷1)		15	円															
	財源	受益者負担分		16	千円				0	0	0								
		国からの補助金等		17	千円				0	0	0								
		都からの補助金等		18	千円				0	0	0								
その他の補助金等		19	千円				0	0	0										
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源(14-20)		21	千円	0	0	0	3,928	4,798	0										
受益者負担比率(16÷14)		22	%				0.0	0.0											

平成25年度 杉並区事務事業評価表(2)

整理番号 232

24年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		仮設建物賃借料	1	所	3,928
		その他()			0

(2)事業実績
(協働、行革の取組みがあれば記入)

平成23年3月から始まった高齢者活動支援センターの改修工事も平成24年4月27日に竣工し、5月7日に開館しました。リニューアルオープン時からは、受付業務を総合受付に1本化し、地域区民センターとプールもすべて合わせて、指定管理者による運営にし、効率化を図りました。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高齢者活動支援センター(旧老人福祉センター)は、昭和58年4月1日に地域区民センターとともに開館しました。竣工から26年が経過し、配管設備などの老朽化や建物の耐震基準を下回るなどの改修が必要な状態になりました。また、開館当時に設置していた宿泊施設が廃止され、高齢者需要が高い治療器コーナーの設置が必要になるなど、スペースの有効利用を図った施設の改修を行い、カフェやロビーの共有化も行いました。
	事業に対する意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成24年度の大規模改修後に寄せられている意見等は特にありません。
	今後の予測	平成24年度をもって改修が終了したため、今後はハード面の整備ではなく、ソフト面であるサービスの充実を図ります。
評価と課題		平成24年4月に改修工事を完了し、5月に開館しました。今までの課題であった浴室の改修やトイレの改修、囲碁・将棋ができるスペース(くつろぎの部屋)を設置しました。建て替えを機に受付業務を1本化し指定管理者による運営に移行しました。ロビーを共有化し、多世代の交流の場として設置し、カフェの開設など、誰でも利用しやすい施設となりました。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業コストの方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> その他
		II 事業の方向性	<input type="radio"/> 手段・方法の見直し	<input type="radio"/> 実施主体の見直し	<input type="radio"/> 対象の見直し	
	平成24年度をもって高齢者活動支援センターの改修が終了したため、事業予算(事務事業)は平成25年度からなくなっています。					